

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	病床機能報告情報収集経費			担当部局庁	医政局			作成責任者		
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課			課長：迫井 正深		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律第4条第1項 医療法第30条の3の2			関係する計画、通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	より効果的で効率的な医療・介護サービスの構築に向けて、病院・病床機能の分化・強化、在宅医療の推進、医師・看護職員の確保対策、チーム医療の推進等を内容とする医療サービス提供体制の制度改革に取り組めるようにすることを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	病床機能情報の報告制度創設に伴い、医療機関がその有する病床において担っている医療機能をはじめ、提供している医療の内容に関する情報を全国共通サーバーに提出することとなっている。事業者は提出されたデータの精査、また、未報告医療機関に対して督促を行う。その後、都道府県が地域医療構想を実現させるための分析に活用できるような形で集計後、都道府県へ情報提供する。また、27年度からは、都道府県が策定する地域医療構想の基礎データとして使用できるよう、分析可能な収集システムにする改修も行う。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	39	-	-	-			
		計	0	80	71	66	66			
	執行額			54	68					
	執行率(%)			68%	96%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 30 年度	
	医療機関の期限までの報告割合の向上	期限までの報告割合	成果実績	%	-	85	90	-		
			目標値	%	-	85	90	-	95	
			達成度	%	-	100	100	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	ツールの導入件数	活動実績	-	-	1	1	-			
		当初見込み	-	-	1	1	1			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	X/Y X:「執行額」 Y:「事業者数」	単位当たりコスト	円	-	54,000,000	67,500,000	65,000,000			
		計算式	X / Y	-	54,000,000/1	67,500,000/1	65,000,000/1			
平成28年度 位:百万円) 29年度 予算内訳 (単	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	社会保障関係情報化業務 庁費	66	66							
	計	66	66							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策		地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること						
	施策		日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)						
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度
			実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	本事業を実施することにより、都道府県が策定している地域医療構想の実現に向け、よりよいデータを都道府県に情報提供することができる。								
	経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-				
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項目		評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	当制度は医療法に定める病床機能情報の報告制度創設に伴う経費であり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	当制度は医療法に定める予定の病床機能情報の報告制度創設に伴う経費であり、国が実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	当制度は医療法に定める予定の病床機能情報の報告制度創設に伴う経費であり、病床の機能分化という政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争総合評価落札方式にて実施したが、支出先の選定は妥当である。公告期間を長くするなど対応したのだが、1者入札となった。本業務の内容が業者に周知しきれていないと考えられるため、今後は説明会を開催するなど工夫したい。					
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有						
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	27年度から地域医療構想策定に資するデータ分析を行えるよう新たなシステム改修を行うので、妥当である。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-						
事業の有効性	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・用途が事業目的に即し、必要なものに限定されている。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-						
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-						
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果実績は、成果目標に見合ったものとなっている。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は、見込みに合ったものである。					
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	全国の医療機関が、病床機能報告ツールを活用して報告をしている。					
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-						
	所管府省・部局名	事業番号	事業名						
点検・改善結果	点検結果	全国の医療機関が共通サーバーへ報告する際に、エラーチェックがかかる仕組みに改修したことにより、報告の精度があがり、各医療機関のチェック時間の削減になるなど、都道府県、医療機関の負担軽減につながった。今後も、データ収集方法を見直すことにより、膨大なデータを収集する必要がある。							
	改善の方向性	平成27年度に報告をいただいた医療機関からのアンケートを基に、医療機関がさらに報告しやすいツールに改修するとともに、都道府県が策定している地域医療構想の実現に向け、よりよいデータを都道府県に情報提供できるよう、データ分析手法を検討する。							

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

医療サービス提供体制の制度改革を推進するために必要な予算であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

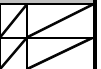
現状通り

-

備考

-

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	新26-003	平成27年度	30	

